



みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢市交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。

ROOF NEWS Vol.13

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 27.11.20 滝沢市（地域づくり推進課）

ROOF1 建物の工事が始まってから1年が経過しました。

滝沢市交流拠点複合施設の工事が始まってから、早くも1年が経過しました。現在、鉄骨も立ち始め、建物の輪郭が徐々に現れてきました。工事も佳境に差し掛かってきました。

ROOF2 鉄骨工事が始まりました。

今年の2月に杭工事が完了し、続いて基礎及び1階床の工事が始まりました。基礎は鉄筋コンクリート製で、柱の荷重を杭に伝え、建物を支える非常に重要な構造物ですので、施工図に基づき正確に施工されます。建物の建築面積が非常に大きいので、コンクリートは工事の区域を12箇所に分け、多い時で1日に約250㎡(ミキサ一車63台分)が施工されました。

これまで土の中での工事が中心でしたが、8/1からいよいよ地上部分の鉄骨工事がスタートしました。鉄骨は岩手県内の専門の工場で作られます。工場では柱145本、大梁346本、小梁1843本もの鉄骨が製作されますが、工場で作成した鉄骨は現場へ運び出される前に、都度、市の監督員、監理者、施工者による細かい検査が実施されます。検査に合格した製品は大型トラックで現場に搬入、定格荷重200tの大型クレーンで吊り上げられ、所定の位置に設置、ボルトで緊結されていきます。

最も大きな鉄骨は1本10m、重さ5.5tにもなり、また現地で組み立てたものは重量が7.5tを超えるようなものもあり、安全に注意して慎重に工事が進められます。今年は大雨などもありましたが、予定通り工事が進められました。



現在の敷地の様子



現場での基礎工事の様子



鉄骨工場での検査の様子

ROOF3 これからの工事スケジュール

現場では鉄骨工事が進む中、設備配管用スペース等いろいろな場所で工事が進んでいきます。現場の外でも、外部用アルミサッシの製作や舞台用の機器の製作が順次行われ、間もなくそれらも建物に据え付けられていきます。

鉄骨工事が終わると今回の建物の大きな特徴である大屋根の取り付けが始まります。その後外壁やアルミサッシの設置など年内には建物の外側の仕上げがほぼ完成する予定となっています。



鉄骨立て方の様子（舞台プロセニウム上部の大スパン鉄骨、約 19m×6m もの大きさ）

ROOF4 まとめ

これから、いよいよ建物の外部仕上が完成してきます。実際の建物の形・色が徐々に出来上がっていく様子を見ることができるようになりますので、大いに期待してください。

これからも、建物の工事の進み具合などを逐次、皆様へROOF NEWSでお知らせしていきますので、引き続きよろしくお願い致します。

ROOF5 お知らせ

現在、日々の建設状況などについて、『きょうの大屋根 専用のサイト』で紹介しております。このサイトは、IPU 第 2 イノベーションセンターに入居中の“株式会社ピーぷる”さんに、ボランティアで交流拠点複合施設のサポーターとなって専用サイトを制作していただいています。

市ホームページのトップページにある専用のバナー“きょうの大屋根”からご覧いただくことができますので、ぜひ下記URLからアクセスしてみてください。

『きょうの大屋根 専用のサイト』URL <http://ooyane.people.co.jp/>



『きょうの大屋根 専用サイト』